

koedo-kawagoe
OMOTENASHI

おもてなし

小江戸川越

特集1

再発見！ 広がる地域の魅力

特集2

川越セレクション

連載

おもてなしのこころ②



時 薫るまち 川越

小江戸川越観光協会

2018.SUMMER



Information

松村屋旅館
川越市元町 1-1-11
049-222-0107



老舗旅館に聞く 外国人旅行者の現状

明治から川越で旅館業を営む松村屋旅館。先年、改装して川越情報コーナーなどを設けたロビーや、趣のある和室が近年外国人の旅行者に人気だ。現在はバスツアーによる東京からの日帰り客も多く、「宿泊できる観光地」を目指して多くの課題を持つ川越だが、外国人の宿泊事情からはまた少しちがったものが見えてくる。松村屋旅館の外国人宿泊者は、例えば親戚の婚礼に参列する外国人団体客や、日本好きでバックパッカーのように全国を巡っている外国人が多くを占める。和を体験した宿泊者によるSNS発信による口コミ効果も大きいという。

現在松村屋旅館では夕食を出していないため、宿泊者の夕方以降の過ごし方をご案内の方法に苦戦中。店を選択してもらうためには、「どうしても駅まで戻ってもらうことになってしまう」と今井さん。日本の文化体験を求めてやってくる外国人に対し、どうやって彼らに本当の日本を伝え、感じてもらうのか。埼玉県内トップの観光地川越として、言語、宗教、マナーなど多くの課題をもう一度見つめ直していきたい。（編集部）

このページは広告が入っておりました



koedo-kawagoe
OMOTENASHI
2018.SUMMER

Contents

- 1 老舗旅館に聞く 外国人旅行者の現状
- 2 特集1
再発見！ 広がる地域の魅力
- 6 特集2
川越セレクション
- 10 連載 おもてなしのこころ②
- 12 おもてなし Information / 会員紹介





もう一度目を向ける
私たちの郷土、川越。
奥深い歴史は
観光中心地だけでは
ありません。

再発見！ 広がる 地域の魅力

2017年秋に当協会で開催した「CYCLOG in 小江戸川越」総参加人数は150名、参加者が各々でルートを考えながらスポットを目指し、スタート地点である総合卸売市場を一齐にスタート。観光客で溢れる中心地だけではなく広い範囲に目を向けることで、私たち自身もあらたな川越の魅力に触れることができました。

今回の特集では、広域に点在するスポットや店舗のオーナーにインタビューし、川越のさらなる楽しみ方をご紹介します。今後の川越観光のあり方や課題にも迫ります。

自転車でスポットを案内してくれたのは、当協会理事の下浩明さん。「こんなに身近にある川越の魅力に驚きます！」地元の人に通うおすすめパン屋さんも紹介していただきました。

この土地ならではの
ライフスタイルを
もう一度伝えたい

株式会社マツザキ中福本店



今、大注目の川越の特産品といえば、

川越でマンゴー!!
あらたな驚きの
特産品

東洋ビーネット株式会社



1887年創業の老舗酒店のマツザキ中福本店。店舗と同じ敷地には昔ながらの生活の様子がうかがえる母屋と、かつての武蔵野の姿をいまなお残す約2000坪の雑木林を所有。当主の松崎敦雄さんが8年前から整備をし、活動を事業化。現在は一般に無料開放している。

おいしい地酒を求め、全国の酒蔵を巡っている松崎さんは、その酒造りの長い歴史の素朴さにこそ、確かなもの

を感じるという。

「酒造りもそうですが、急にいろいろなことを変えていくのは、それ自体が短命に終わってしまう気がします。古いものや受け継がれてきたものに寄り添うということの意味を感じながら、特に伝えることゝに力をいれていきたい」と話す松崎さん。歩幅が狭く、変化の早いこの時代に、昔ながらの川越の「田舎」が発信する確かな魅力に、常連客以外にも多くの人々が訪れている。



「残っているものに触れ、違った川越をもっと伝えていきたい」と語る松崎さん

Information

株式会社マツザキ中福本店
川越市中福 547
049-243-4022
10:00 ~ 19:00
定休日なし
<http://www.1887.co.jp>



下さんも聞き入る栽培方法。1本の木から採れるマンゴーは少なく、まるで宝石のようなツヤに驚く

Information

東洋ビーネット株式会社
あまみごえ直売所
川越市中福 153-2 の西側農地
049-293-4303
<http://www.toyo-b-net.co.jp/agri/index.html>

※開設期間や販売時期、販売品種は、収穫状況によって変動します
facebook ページでご確認ください
<https://www.facebook.com/amamigoe>

川越で一番、
近くで馬と
触れ合える場所
アリスの牧場



入間川沿いにある川越の乗馬クラブ、アリスの牧場。「こんなところに!」と驚く人も多いだろう。1995年オープン、元は養鶏場だったという。大きな木や色とりどりの草花など、自然溢れる敷地で気軽に馬と触れ合えることで人気のスポットだ。乗馬クラブは下は6歳から上は80代の会員が所属。競技会のための本格的なレッスンも受けられる。最近では、自転車で立ち寄る

人も多くなってきたと話するのはオーナーの山口八重子さん。「馬はとても頭のいい動物。身近に感じてもらえたら」今後はクラブの建物を利用して、馬が間近で見られるカフェも考案中だとか。市街地から少し離れたところにあるため、交通の問題からも観光スポットとしては利便性に課題もあるが、まさに「これも川越!」、豊かな武蔵野の自然を感じられる特別な空間だ。



美しい馬の姿をこんなに
間近で見られる

Information

アリスの牧場
川越市の場 258
049-234-2525
9:00 ~ 16:30
月曜定休 (祝日の場合は翌日休)
<http://www.alices-ranch.com>
※騎乗は要予約

BOULANGERIE WACCI

シンプルな食事パン白神 (302円) は、毎日の食卓に常備したいほどの美味しさ。売り切れ必至のこだわりパン屋さん。

新宿町6-27-43
第2・4月曜、日曜定休
049-248-8118



パン工房 クローバー

パンの種類は約60種～。季節限定パンが楽しみ。自家製カスタードのクリームパン (140円) が人気。

砂967-2
火曜定休
049-244-3278



絶対行きたい!
町のパン屋さん

下さんがサイクリング中に見つけた
おいしいパン屋さんをご紹介します

Bare Bread

週4日の兼業のパン屋さんで、地場の野菜や果物など素材にもこだわりが。イベント出店も行っている。

石原町1-31-20
火曜～木曜定休
049-223-3654



ベーカリー サンレモ

南大塚駅前で開店して41年の老舗。常時約130種のパンが買える地域のパン屋さん。惣菜パンの種類に圧倒!

南台3-13-1
火曜定休
049-246-5574



特集2

川越セレクション

小江戸川越ブランド産品事業として平成17年から始まった川越セレクション。現在61商品が登録され、川越を代表するブランドとして全国に発信されています。



豊かな川越の地から作り出される
産品を、未来へ残していくために

平成30年度の川越セレクションで、新たな商品が登録された。江戸時代から続く老舗醤油店松本醤油の「匠三昧（なまふく）（3種）」と、市内飲食店で注目を集めている株式会社ライスセンター金子の「河越米」。今回、これら商品の開発者である金子宏さん（株式会社ライスセンター金子 代表取締役）と松本勇一さん（株式会社松本醤油商店 専務取締役）に話を伺った。

ライスセンター金子は、川越市大中居に大きな倉庫を有しており、金子さん自身が米の検査員の資格を持つ。今から4年ほど前、河越米を商標登録、現在も地元農家の協力を仰ぎながら、生産量をあげる活動を行っている。



上「河越米」（2kg 999円、5kg 2,490円）
下「匠三昧」（山椒・生姜・島唐辛子
いずれも410円）
※税込価格

「米農家はどこの土地でも生産者が少なくなくなり、後継者も減っています。農家をまわっても、70代、80代の方がお米を作っている状況です。幸い当社は倉庫もありますし、川越で採れるお米をブランドとして需要をあげ、川越の農家をもっと活性化させていきたいと考えています」と金子さん。一次産業から六次産業までを視野に入れ、会社としての計画では川越の食材を使った名物料理の発売や、川越の食材を海外で展開する事業も模索しているという。

一方、老舗醤油商店が登録した「匠三昧」は、醤油の消費量が減ってきている現代にその味をもう一度知ってもらおうと開発した〴〵おかずにもなる、つまみにもなる〴〵逸品。「社内で開発した醤油麹と、乾物の老舗蔵屋さんの鶏節と合わせたコラボ商品です。当店は観光客の来店も多いですが、なかなか重い醤油を買って帰るのは難しい。手軽に味わえる匠三昧を買って醤油のおいしさに触れてもらい、インターネット販売につなげられれば」と松本さん。

今回、この二つの商品を川越セレクションに登録することで、より一層商品に込められた想いを周知してもらい、各社の発展はもちろんのこと、川越の産品のブランド化に貢献する。

「米離れが進んでいるという現実もあります

が、一方で河越米は地元飲食店や一般家庭の方が買いに来られ、米に対する意識も上がってきている気がする」という金子さん。観光地で店を構える松本さんは「川越の魅力はなんといっても生産者がいて、それを売る商店があり、地元の方がそれを購入して生活をする、というスタイルが未だに続いていることだと思っています。さまざまな課題はありますが、地道なものの作りを通して未来へ良き川越を残していきたいですね」と語る。川越セレクションの登録を通してつながる二つの事業者。彼らから発信される新しい川越には、残され守られてきたことと、今の人々の心に響く新しい魅力に溢れていた。

Information

株式会社
ライスセンター金子
川越市新宿町 2-11-7
049-242-3239
<http://www.rc-kaneko.jp>

株式会社
松本醤油商店
川越市仲町 10-3
049-222-0432
<https://www.hatsukari.co.jp>



右・金子宏さん
左・松本勇一さん

平成 30 年度小江戸川越ブランド産品「川越セレクション」認定申請一覧

	認定商品名	会社名	所在地	TEL	認定番号
1	いも恋	株式会社 右門	川越市石田171-2	049-226-2771	2
2	冷凍芋おこわ	株式会社 右門	川越市石田171-2		32
3	芋納糖	株式会社 右門	川越市石田171-2		128
4	いもどうなつ	稲葉屋本舗	川越市元町2-7-6	049-222-2513	3
5	くずゆ	稲葉屋本舗	川越市元町2-7-6		22
6	組アメ	玉力製菓	川越市元町2-7-7	049-222-1386	6
7	ニッキ飴	玉力製菓	川越市元町2-7-7		13
8	小江戸なめらかプリン	江田養鶏場	川越市中老袋320	0492-23-2203	8
9	小江戸川越芳野の里のあじわい豊かな農家の地たまご	江田養鶏場	川越市中老袋320		26
10	さつまいもプリン	ビストロ岡田	川越市仲町7-13	049-225-4608	12
11	二色芋のパバロア	ビストロ岡田	川越市仲町7-13		46
12	川越城 霧吹の井	麻原酒造株式会社	入間郡毛呂山町毛呂本郷94	049-298-6010	15
13	紅赤 ー Beniaka ー	株式会社 協同商事	川越市今福中台2908-2	049-244-6911	16
14	小江戸の里	舟運亭 有限会社戸田製麺	川越市西小仙波町1-7-19	049-222-1311	19
15	川越そうめん詰合	舟運亭 有限会社戸田製麺	川越市西小仙波町1-7-19		112
16	小江戸黒豚ハムソーセージ詰め合わせ	有限会社 大野農場	川越市谷中27	049-222-7309	25
17	炊き込みごはんの素	株式会社 松本醤油商店	川越市仲町10-13	049-222-0432	28
18	はつかり醤油	株式会社 松本醤油商店	川越市仲町10-13		29
19	初雁の里もろみ漬	株式会社 松本醤油商店	川越市仲町10-13		31
20	はつかり醤油漬	株式会社 松本醤油商店	川越市仲町10-13		108
21	はつかり胡麻ドレッシング	株式会社 松本醤油商店	川越市仲町10-13		127
22	味覚彩米	株式会社 金子商店	川越市宮下町1-12-7	049-222-0143	34
23	川越唐棧反物	川越唐棧振興会	川越市仲町5-10	049-222-1518	35
24	川越の漆器	うるしの里 桂	川越市霞ヶ関北2-11-3	049-231-5462	37
25	木製曲物製品「簡易セイロ」	有限会社 麻彦商店	川越市連雀町9-2	049-222-0651	41
26	芋プリン	有限会社 吉寅	川越市元町1-9-3	049-222-0102	49
27	べにあかくん	有限会社 くらづくり本舗	川越市久保町5-3	049-225-0225	54
28	店蔵（みせぐら）	有限会社 くらづくり本舗	川越市久保町5-3		55
29	らん餅	有限会社 くらづくり本舗	川越市久保町5-3		56
30	福蔵（ふくぐら）	有限会社 くらづくり本舗	川越市久保町5-3		57
31	ぼくぼく	有限会社 くらづくり本舗	川越市久保町5-3		58
32	喜多のかけはし	有限会社 くらづくり本舗	川越市久保町5-3		122
33	川越まつり 山車ピン	株式会社 ナカシン紙商	川越市西小仙波町2-11-13	049-298-5166	68
34	川越唐棧メモケース	株式会社 ナカシン紙商	川越市西小仙波町2-11-13		114
35	いもせん	有限会社 東洋堂	川越市松江町2-6-9	049-222-1852	70
36	川越いも焼酎「富の紅赤」	川越酒販協同組合	川越市府川780-1	049-272-7650	82
37	鏡山 斗瓶取り雫酒大吟醸	小江戸鏡山酒造 株式会社	川越市仲町10-13	049-224-7780	83
38	鏡山 純米酒	小江戸鏡山酒造 株式会社	川越市仲町10-13		88
39	生きんつば	有限会社 福呂屋	川越市幸町15-1	049-222-1103	92
40	鐘つき最中	有限会社 福呂屋	川越市幸町15-1		126
41	すっぱん料理の宅配	仙とも	川越市砂新田32-2	049-245-8838	93
42	小江戸川越 手造り納豆	渡辺食品製造所	川越市西小仙波町2-17-24	049-222-6629	94
43	小江戸うどん（半生）	社会福祉法人皆の郷 第2川越いもの子作業所	川越市今成3-13-3	049-224-5045	97
44	バラエティセット（米菓）	社会福祉法人皆の郷 第2川越いもの子作業所	川越市今成3-13-3		131
45	川越蔵の街さいだぁ	株式会社山本商店	川越市宮下町1-2-2	049-224-0877	101
46	川越の水	公益社団法人小江戸川越観光協会	川越市元町1-15-8		103
47	川越いも茶	公益社団法人小江戸川越観光協会	川越市元町1-15-8		129
48	フライせんべい	大玉や	川越市幸町16-4	049-222-1255	104
49	川越太麺やきそば	まことや	川越市連雀町8-4	049-224-2915	109
50	さつま芋かりん糖	榊旭製菓 川越店	川越市幸町14-3	049-228-4090	113
51	こがね芋	株式会社 亀屋	川越市仲町4	049-222-2051	119
52	小江戸の心	株式会社 亀屋	川越市仲町4		120
53	河越太郎	株式会社 亀屋	川越市仲町4		130
54	亀の最中	株式会社 亀屋	川越市仲町4		136
55	河越抹茶	株式会社 十吉	川越市小仙波町4-16-8	049-270-7213	121
56	小江戸川越 華とんぼ	創幸会	川越市喜多町2-1		124
57	ふりかけて食べる鶏削り節	轟屋	川越市連雀町7-2	049-222-0774	125
58	あまみごえマンゴー	東洋ビーネット株式会社	東京都中央区京橋3-7-1		132
59	あまみごえぶどう	東洋ビーネット株式会社	東京都中央区京橋3-7-1		133
60	たべる醤油 匠三味（たくみざんまい）	株式会社 松本醤油商店	川越市仲町10-13		134
61	河越米	株式会社 ライスセンター金子	川越市新宿町2-11-7	049-242-3239	135

小江戸川越ブランド産品事業

「川越セレクション」とは？

自慢の商品を
小江戸川越ブランド産品の認定に！

小江戸川越観光協会では、平成17年から「小江戸川越産品のブランド化事業」を進めています。昔から商業の街、ものづくりの街として発展してきた川越には、優れた素材や製法、技術などを活かし、本物にこだわる川越らしい産品が数多くあります。また、いつの時代にも新たに地域産品の開発、普及を図ることにより、川越市の産業の振興に大きく寄与してきました。

当観光協会では、新しい川越の産業振興、地域経済の活性化のために、商業・農業・工業の全般にわたり、全国に誇れる川越産品のブランド化に向けて地域ブランド品認定制度」を確立し、川越産品のイメージアップを図っています。また、平成26年度からは、より親しみやすいように「川越セレクション」としてブランドマークもリニューアルいたしました。



ウェスタ川越1階にて
展示をしています

川越の歴史と文化の魅力に惹かれてこの地に訪れる観光客は、今年年間700万人超。観光客が地域にもたらす経済波及効果は非常に大きなものがあります。本事業も観光客の土産品にとどまらず、観光都市小江戸川越の素晴らしい産品を全国ブランドとして定着させ、地域産業の振興と地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。

「一度行ってみたい川越、もう一度行ってみたい川越、住んでしまいたい小江戸川越」――みなさまの自慢の一品のご登録をお待ちしております。



「川越セレクション」認定について

- 対象商品
小江戸川越ならではの素材、製法、技術、商法等を用いたもの、又は川越地域内において生産、製造、加工等されたものを対象としています。
- 申請資格
申請には、次の(1)から(3)まで全て要件を満たしている必要があります。
(1)本店あるいは事業拠点が川越地域内に存在していること
(2)組織または自主的な検査体制が確立されていること
(3)責任者、責任の所在が明確であり、消費者からの苦情、要望などに対する処理体制が確立されていること
- 申請
小江戸川越ブランドの認定を受けたい場合には、所定の申請書を指定日までに協会に提出してください。(手数料がかかります)
- 審査
審査は、消費者団体、学識経験者並びに事業委員会委員等幅広い層から会長が指名した者からなる審査会を開催し、次の審査基準に基づき審査いたします。

おもてなしの
ところ ②呉服笠間
笠間美寛氏

連載「おもてなしのころ」第二回めは、川越唐棧の復興に尽力する笠間呉服店の若旦那にお話しを伺いました。江戸の粋を感じさせる縞模様の復活の陰には、川越の街を思う人々の惜しまぬ努力がありました。地元の名産物のこれからをお伝えします。



写真 須賀昭夫

棧があったということを知らなかったといひます。

——そこからの復活、どのような道のりがあったのでしょうか。

●すでにお亡くなりになったあるお店の方がご自身の骨董品の収集をするときに、川越唐棧の縞帖（縞柄のテキスタイル見本）を集めていらつしやうて、だんだん川越にもオリジナルの唐棧があったということがわかってきました。地元の人などで研究会などを発足して勉強会を開き、私の父を含むその世代の商店に川越唐棧の復活を提言してくださったのがきっかけです。40年くら



加藤忠正（専務理事）

い前の話でしょうか、

——川越の街では、伝統的な建築や町並みの保存、川越芋など地元食材の復活など、地元の有志が作る民間団体の活躍が全国的にみても大変活発だと言われています。川越唐棧復興にもそういった方々の尽力があったのですね。

●はい。川越唐棧は川越自体の衰退や発展とともにあります。現在は観光産業が活性化していますし、レンタル着物でも川越唐棧を扱っていたいたり、また現代では着物だけというわけにもいかないので、振興会のメンバーや若手の作家さんに唐棧をつかった小物を制作してもらい、普及活動を行っているところですね。

——最近では大学との連携も図り、川越唐棧の活用方法やロゴ提案なども行っているそうですね。

●学生さんたちのような着物に馴染みのない若い人たちも、日本文化に対する興味を持ってもらえればということ

があります。一緒に研究をしている私自身、彼らと話していくことで川越唐棧を未来に向けてどのように残し発展させていくかという課題が見えてきます。織元の問題、需要と供給の問題など課題は多くありますが、昭和の時代に唐棧を含む川越の街の復興のきっかけをつくった先達の熱量を、いま自分自身が感じています。

——笠間さんはこれらの活動以外にも、商店街活性の活動も積極的に行っているらしいですね。

●「昭和の街」として、蓮馨寺周辺の商店街のみんなとさまざまな活動を行っています。一番街の賑わいからワンブロック隔てたところには、こんなにも地元の生活が感じられる商店が残っているということ、とくに地元の方々を知ってもらいたいと思っています。



——今年は明治満150年、そして明治の川越の大火から125年の年です。笠間呉服は創業108年というのですが、創業当初はどのような店舗だったのでしょうか。

●もともとは小川町で商売をやっていましたが、最初に川越にきたときは、リヤカーに雑貨など何でも乗せて、売り歩いていったと聞きました。どこかの大会に丁稚に行くのではなく、自分で商売を始めたのです。明治40年代には当時の江戸町に店舗を構え、青縞と呼ばれる綿の青い織物を販売していたようです。いわゆる太物商ですね。着物は当時はよく売れましたから、売上も伸びて昭和初期に現在の場所に店を移しました。近所には画家の相原求一朗さんがお住まいでした。

——川越の街は昔から染物屋、太物商、呉服商が多かったと思いますが、唐棧もその中で発展してきた織物のひとつですね。

●はい、江戸の粋を感じられる縞柄が人気だったようです。大火の後からだんだん見なくなってきた、大正から昭和に入ると丁稚が着る作業用の粗悪品のような扱いだったと聞いています。その後の街全体の産業衰退と一緒に、戦後にはすでに川越唐棧の名前はこの土地から消えてしまいました。私の祖父や父も、呉服屋をしていて川越に唐

——空き家問題などについてはどのようにお考えですか？

●商店街というのは、それぞれ専門性の高い店舗が集まり、ここに来れば何でもそろう！ということが大前提。いま空き店舗になっているところや、高齢化と後継ぎの問題で閉店を余儀なくされるお店の方たちとは、昔ながらのお付き合いと継続的なコミュニケーションによって、貸す大家も借りる人も双方が納得できる形で街づくりに参加してもらえようにすることが大事。地元の我々が率先して活性化に向けた活動を推進していきたいと思っています。今の時代では難しいかもしれませんが、つけのきく商店街、くらい住人との信用度が高まることを目指したいですね。

——ありがとうございます。

笠間 美寛

明治四十三年創業の呉服笠間四代目。教育機関で唐棧についての研究協力など積極的に行う。ツアーコンダクターの資格も保有し、地元川越の観光事業にも貢献している。



“きものの日” 7周年事業

いらなくなった思い出のきものを供養しませんか？

川越きものの日実行委員会では、きものの日7周年に当たる8月18日に、思い出のある着なくなったきものを蓮馨寺境内等に飾り、後日、供養を行います。

〈引き取り日〉

供養するきものは、6月18日と7月18日のきもの日に、蓮馨寺講堂 1Fにて10時～14時30分にお引き取りします。

※事前予約は必要ありませんが、応募多数の場合は、先着30名、お一人様2着までとさせていただきます。

※6月18日で60着に達成した場合は、7月18日には受付致しません。また、一度お引き取りした着物はお返し致しません。

問い合わせ先

小江戸川越観光協会

Tel 049-227-8233(平日9:30～17:00)

※詳しくは下記URLよりきもの日HPをご確認ください。

<https://kawagoe-kimono.info/>

※帯、反物、草履などの小物はお引取りはありません

※指定の日時、場所以外、また郵送でのお引取りは致しません

Q. どんな着物でも引き取ってくれるのですか？

A. 蓮馨寺境内に飾れる状態であるかが基準になります。

Q. 引き取った着物はどうするのですか。

A. 後日、蓮馨寺において供養します。その後は、着物の状態等に応じ、廃棄、リユースして販売などの方法で対処します。



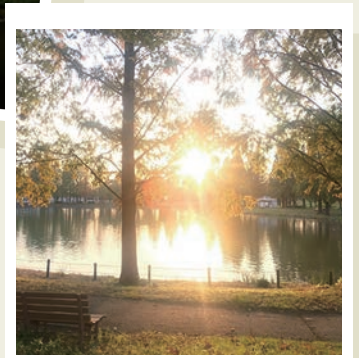
これも川越インスタグラムキャンペーン 第3弾

街を飛び出して新たな川越の魅力を探して見ませんか。

「これも川越！」というシーンが見つかったらインスタグラムで投稿してください。今回、優秀作品のうち1名には、川越産マンゴーを進呈します。多くの方のご参加お待ちしております。

※詳しくは下記 URL よりキャンペーンページをご確認ください。

<http://www.koedo.or.jp/anotherkawagoe/>



ハッシュタグは…

これも川越

過去の表彰作品の一部です。

小江戸川越

おもてなし

平成30年5月23日 発行



発行 公益社団法人 小江戸川越観光協会
〒350-0062 埼玉県川越市元町 1-15-8
TEL：049-227-8233

印刷 株式会社 櫻井印刷所

本誌は著作権法の保護を受けています。

内容を無断で転写、複製、転載することは禁じられています。

撮影 小松正樹 須賀昭夫

デザイン 中榮康雄

編集 櫻井理恵

《編集後記》

この4月から、札の辻の協会事務所を観光案内対応の業務を中心に行えるようにリニューアルしました。今後は、会員の皆様や市民の方々と観光客の人々との交流の場として活用できるよう整備して参ります。オリンピックに向けてより多くの外国人観光客も来川されることが予想されます。観光情報の受発信を行うハブ機能を担える施設にしていきたいと思います。よろしくお願ひします。

(公社)小江戸川越観光協会 事務局次長

山口英史

会員紹介

新入会員

会員名	所在地
(株) HAPPY CURRY LIFE	川越市大手町 15-9
幸芋	埼玉県入間郡三芳町北永井 862-45
(株)マツザキ	川越市中福 547
パン工房 Bare Bread	川越市石原町 1-31-20

会員名	所在地
和食レストラン とんでん 川越富士見店	川越市富士見町 12-17
アリスの牧場	川越市的場 258
悦の蔵	川越市元町 1-14-17
ふどうと苺の沼田園	川越市的場 135-2